

2021.05 Monthly Report



写真 1 / 新たな街がここから生まれていく

高輪ゲートウェイ駅周辺の《品川開発》事業は壮大な再開発の一環 !! 田町・品川、羽田、リニア新幹線まで含むベルトライン的大開発の要

～高輪ゲートウェイは世界の大木戸に!?!～

☆品川駅周辺が「世界に飛躍する日」は間近い!?

本紙では昨年 3 月の高輪ゲートウェイ駅部分開業より半年前、一昨年秋から周辺エリアの開発計画の進行ぶりを本欄「まんすりーレポート」や「プチ特集」欄などを使い随時お届けしてきました。

直近では 4 月最終週 3191 号の「プチ特集」欄で最新の状況をレポートしましたが、今月の本欄「まんすりーレポート」はその続編です。それではまず、写真に即して説明していきましょう。

写真 1 は第 1 期開発計画（1 街区～4 街区、2025 年に街びらきの予定）のうち、高輪ゲートウェイ駅より少し田町駅寄りに位置する第 2 街区（敷地面積約 8,000 m²、地上 6F 地下 4F の文化交流施設が建設される予定）の現場入口に向かう道路。



写真 2 / 今はほとんど人通りもないが……

左側の塀の向こうで展開する建設現場の背後、さらに田町駅寄りのエリアは、地上 45F 地下 3F の超高層ビルが建設される 1 街区（敷地面積 12,700 m²）になっています。

写真 2 はその 2 街区の塀に掲示されている、品川開発とセットの地下鉄泉岳寺駅の改良工事のお知らせ。地下鉄泉岳寺駅も品川開発で建設される各街区の「最寄り駅」の一つに昇格することになります。

写真 3 は高輪ゲートウェイ駅前の現況。左側の長い塀の内側では 3 街区（地上 31F 地下 5F の多目的ビルが建設される予定、敷地面積約 13,000 m²）の建設工事が、まだ基礎の段階ですが進行中です。

写真 4 は写真 1 の道路を進んだ突き当たり左にある 2 街区の現場入口の様子です。入口にたたずむ作業員さんたちの様子も、建設工事の本格化を前に、まだなんとなく、ノンビリした風情にみえます。

写真 5 は高輪ゲートウェイ駅より少し品川駅寄りの 4 街区（地上 30F 地下 3F、ホテルやコンベンション施設などが入る予定の高層ビル、敷地面積約 38,300 m²）の現場内部の様子です。

写真 6 は高輪ゲートウェイ駅横の柵の間から遠望する品川駅前（東口側）の高層ビル街です。

そして写真 7～9 までは、品川駅西口側をスナップしたものなのですが、JR が主体となって進められている高輪ゲートウェイ駅前・1～4 街区の《品川開発》